

国から都道府県に対する調査の重複排除について（群馬県庁ヒアリング関係）

1. ホットライン（縦割り110番）要望「重複した調査が来て回答負担が大きい」

国から都道府県に対する調査において重複がないか確認

2. 群馬県庁へのヒアリング

（注）国が都道府県に実施している調査の実情を把握するため、直轄チームに職員を派遣している群馬県庁の協力を得た。

① 厚生労働省の2つの調査（農畜水産物等の放射性物質検査計画の報告）における重複

【2頁参照】

- ・ 同一内容（品目ごとの検査計画数）を両調査で報告
- ・ 一方の調査では、過年度に報告済の内容も記載が必要
- ・ 異なるデータ形式（Excel形式とWord形式）のため、コピーで作成困難

② 農林水産省の同一調査（家畜伝染病に関する調査）内における重複

【3頁参照】

- ・ 月次調査で報告済の内容を年次調査で重ねて記載が必要

厚生労働省及び農林水産省に対応を要請

3. 両省からの回答

① 厚生労働省：Word作成の調査を廃止（今年度から）

② 農林水産省：年次調査の当該表を廃止（今年度から）

※上記の見直しについては、各府省にも情報提供、類似の事例については見直すよう要請。

※群馬県からは、上記2件のほかにも、調査の重複に係る指摘を受けており、これらについては、順次関係府省に対応を要請中。

1. 厚労省による都道府県への業務調査

農畜水産物等の放射性物質検査計画

農畜水産物等の放射性物質検査における平成28年度同期と比較した場合の検体数削減品目及び検査計画

調査主体

厚生労働省医薬・生活衛生局

厚生労働省医薬・生活衛生局

頻度

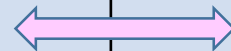
四半期

四半期

形式

Excel形式

Word形式



農畜水産物等の放射性物質検査計画の概要

1 期間 令和2年度第1四半期（4月～6月）

分類	品目数	検査頻度	総検体数	検体採取市町村数 (予定も含む)
出荷前もしくは出荷時に検査を行う食品				
野菜類				
果実類				
きのこ・山菜類	栽培きのこ類			
	野生きのこ・山菜類			
畜産物	牛肉			
野生鳥獣肉				
穀類	麦			
海産魚種				
内水面魚種				
小計				
市場に流通している食品				
生鮮品又は加工品				
計				

②データ形式違うのでコピーも困難

①報告の内容が同じ

農畜水産物等の放射性物質検査計画において平成28年度同期と比較して検体数を削減した品目

1. 自治体名：〇〇県
2. 期間：令和2年度第〇四半期（年 月～ 月）

分類	令和2年度第〇四半期				平成28年度第〇四半期				削減品目詳細 ※追加削減品目から検体数を削減した品目は（削減前後の検体数を記載。品目数が多い場合は、削減しても最大1%以内削減。複数削減品目の記載がある場合はその数を併記。）
	品目数	検査頻度	総検体数 (1)	検体採取市町村数	品目数	検査頻度	総検体数 (2)	検体採取市町村数	
出荷前/出荷時に検査を行う食品									
野菜類									白菜（6-3）
果実類									りんご（5-1）
きのこ・山菜類									菌類しいたけ（4-2）
畜産物									
野生鳥獣肉									
穀類									
海産魚種									
内水面魚種									
その他									
市場に流通している食品									
生鮮品・加工品									

③平成28年度計画を毎回記入

調査自体を廃止

農畜水産物等の放射性物質検査計画

2. 農水省による都道府県への業務調査

	届出伝染病の届出状況	家畜伝染病発生年報
調査主体	農林水産省消費・安全局	農林水産省消費・安全局
頻度	月次	年次
形式	Excel形式	Excel形式

届出伝染病発生状況

届出伝染病の届出状況 (令和 2 年 7 月分) 都道府県

届出伝染病の種類	家畜の種類	発生戸数		発生頭羽数		死亡頭羽数	発生市町村数
		継続発生のもの	新発生のもの	真 症	疑 症		
牛ウイルス性下痢	牛	累計					
牛伝染性鼻気管炎	牛	累計					
牛伝染性リンパ腫	牛	累計					
破傷風	牛	累計					
レプトスピラ症	犬	累計					
サルモネラ症	牛	累計					
サルモネラ症	豚	累計					
ネオスポラ症	牛	累計					
トキソプラズマ症	豚	累計					
豚繁殖・呼吸障害症候群	豚	累計					
豚流行性下痢	豚	累計					
豚丹毒	豚	累計					
鶏痘	鶏	累計					
マレック病	鶏	累計					
鶏伝染性気管支炎	鶏	累計					
鶏白血病	鶏	累計					
バロア症	蜜蜂	累計					
アカリダニ症	蜜蜂	累計					
ネオスポラ症	水牛	累計					

同内容を年次調査でも報告

(表の様式が異なるのでコピーは困難)

3. 届出伝染病

病名	畜種	内訳	前年よりの繰越	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要	
				発生戸数	発生頭数	発生戸数	発生頭数	発生戸数	発生頭数	発生戸数	発生頭数	発生戸数	発生頭数	発生戸数	発生頭数	発生戸数	発生頭数	発生戸数
牛伝染性リンパ腫	牛	発生戸数 発生頭数																
サルモネラ症	牛	発生戸数 発生頭数																
牛ウイルス性下痢	牛	発生戸数 発生羽数																
牛破傷風	牛	発生戸数 発生羽数																
牛ネオスポラ症	牛	発生戸数 発生羽数																
伝染性鼻気管炎	牛	発生戸数 発生羽数																
サルモネラ症	豚	発生戸数 発生頭数																
豚繁殖・呼吸障害症候群	豚	発生戸数 発生頭数																
豚丹毒	豚	発生戸数 発生頭数																
豚流行性下痢	豚	発生戸数 発生羽数																
鶏痘	鶏	発生戸数 発生頭数																
マレック病	鶏	発生戸数 発生頭数																
鶏白血病	鶏	発生戸数 発生頭数																
鶏伝染性気管支炎	鶏	発生戸数 発生頭数																
アカリダニ	蜂	発生戸数 発生羽数																
バロア症	蜂	発生戸数 発生羽数																
トキソプラズマ症	豚	発生戸数 発生羽数																
レプトスピラ症	犬	発生戸数 発生羽数																

当該表を廃止